

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-1

4-Ⅱ-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	解説パネル等の整備
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	1 解説パネル等の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説パネル等の整備を通じて、来訪者に各構成資産の価値の理解促進を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最近の調査研究に基づく解説パネルや見学マップ等、ガイダンスに必要となる基本的な説明媒体の整備を行う。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体設置予定のサイン139基のうち、50%のサイン設置を完了する。(来訪者の現地受入体制を充実させることで、利便性が向上する。) ※50%については、史跡整備基本計画に基づき、R3～R6の計画で、設置場所の優先順位や設置数を算出</li> </ul>		
これまでの取組実績	<p>令和2年3月に策定した「史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画」において、遺跡案内表示の整備に関する方針を定めた。</p> <p>また、上記方針に基づき、解説・歩行者誘導・注意喚起等のサイン計画を定め、計画的なサイン設置を進めた。</p>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成資産となる上相川地区内に解説・歩行者誘導・注意喚起のサインを設置する。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上相川地区内に解説サイン15基、歩行者誘導サイン17基、注意喚起サイン13基を設置した。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構成資産が広範囲に分布し、設置予定箇所数も多いことから、計画的にサインを設置する必要がある。</li> <li>■ 国補助事業等の財源が確保できない場合、事業進捗に影響が出る。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 史跡整備基本計画及びサイン計画に基づき、令和6年度末までに解説・歩行者誘導・注意喚起等のサイン120基を新たに設置する。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに進んでいることからB評価とした。</p> <p>[ A ● B ● C ]</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。